

平成25年10月から平成29年3月まで佐伯地域の地域支援員として活動した早川さんに話を聞きました。

佐伯の素敵なところを知ってもらいたい

初めのうちは何から動けば良いのか分からずにいましたが、東京で生まれ育った私から見て、素敵だと思ったことをとにかく発信しようとブログを開設し、「さいき日和」という広報紙も作りました。

次に地域の人の話を聞く「まちづくりミーティング」を始めました。そこから「水と緑と虹のマルシェ」や「虹のやおや」が生まれ、私が以前住んでいた浦安市のイベントにも出店できたことは嬉しいことでした。

地域支援員として何ができるか

地域支援員というと「何か特別な力を持っていてグイグイ地域を変えて行くのではないか？」と期待している人もいました。

リーダーシップを発揮して活躍するタイプの人もいますが、私はサポートタイプ。「地域が輝くお手伝い」をする立場だと繰り返し話しました。

佐伯地域で「キラリと光るもの」は、やはり「人」だなと感じています。私のような外からの移住者呼び込むことも大切ですが、佐伯地域に既にいる人たちをもっと輝かせたいというのが、これからの目標です。

輝く地域を夢見て

地域の宝である子どもたちの活躍も見逃せません。今年3月には「子ども起業塾」がスタートしました。より良い企業に就職することを目指して若者が都市部に流出してしまいがちですが、起業するという選択肢があることを知ってほしいという狙いで企画しました。

この起業塾では、本当にたくさんの方に助けてもらいました。先に起業塾をしていた浦安市や子どもたちに指導してくれた佐伯商工会には特別にお世話になりました。

一人でできることには限りがありますが、温かい気持ちでつながる人の力を借りて、キラリと光る取り組みになりました。

また、子ども起業塾の先には、廿日市市の子どもたちが交流する一大イベントを夢見ています。終わりに、関わってくださいました皆さん、本当にありがとうございました。これからもよろしくお願います。



温かな人の力で地域はもっと輝く



このQRコードをスマートフォンで読み込むと、記事の全文がご覧いただけます。

目の不自由な人のため
吉声読み上げのための「広報はつかいち」テキスト版をホームページに掲載しています。
「広報はつかいち」のアクセスナンバー、マイジー図書、点訳本があります。問い合わせ 社会福祉協議会 ☎0294

はつかいち人 vol.18

廿日市市で輝く人を紹介します

元廿日市市地域支援員（佐伯地域） **早川 幸江さん** (44歳・宮島口西)

編集後記

特集で保育園取材させていただきました。子どもたちの笑顔にすっかり癒された私。まちの宝である子どもたちが元気に育ってくれることを願っています。さて、夏に向けてだんだんと暑くなる季節となりました。天気がいい日にはお出掛けしたくなります。日焼けや熱中症には十分注意してお出掛けください。ちなみに、私の顔はすでに真っ黒です。

西岡秀治

「みやしまぐちそごあるきマルシェ」取材させていただきました。

フェリー乗り場周辺を歩いてすぐに、焼きたてのもみじ饅頭の匂いやあなご飯の香りがし、宮島口全域を巡ってみると気になるお店をたくさん発見しました。皆さんも新しい発見を求めてイベントやお散歩に出掛けてみてください。

澁谷里香

人のうごき

前月比

総人口	117,291人	(+134)
男	56,331人	(+47)
女	60,960人	(+87)
世帯	51,254世帯	(+129)

(平成29年5月1日現在、外国人を含む)

発行 廿日市市 〒738-8501 広島県廿日市市下平良一丁目11番1号
☎0829290001(代)・☎0829291059
編集 分権政策部 経営政策課 広報統計グループ
ホームページアドレス http://www.city.hatsukaichi.hiroshima.jp/
フェイスブックアドレス http://www.facebook.com/hatsukaichicity